

分担金・拠出金の名称	国際連合世界食糧計画(WFP)拠出金	平成28年度 予算額	583,090千円	総合 評価	A
拠出先の国際機関名	国際連合世界食糧計画(WFP)				
国際機関の概要	<p>飢餓と貧困の撲滅を使命として、主として食料を通じて①自然災害や人為的災害による被災者、難民・国内避難民等に対する緊急支援、②世界の食料安全保障の推進、及び③開発途上国の経済社会開発を行っており、98か国に386事務所を有する。WFPの事業規模は人道支援機関の中でも最大であり、食料安全保障及び栄養分野の主要な担い手であるほか、人道航空サービスや人道支援物資備蓄倉庫等のロジスティクス面の共通サービスを支援関係者に提供するなど、重要な役割を果たしている。</p>				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献		<p>・WFPが実施する活動は飢餓・貧困対策、母子の栄養改善、学校給食を通じた教育支援等の実現に資するものであり、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に主要な役割を果たしている。</p> <p>・シリアやイラク、アフリカ地域等、我が国が直接支援を実施できない現場の最前線で多くの事業を行うWFPの活動は、我が国の外交政策の柱の一つである人間の安全保障の概念を援助の現場で実現するべく重要な役割を果たしている。また、人道支援に関する空輸サービスや人道支援物資備蓄倉庫等のロジスティクス面で他の国際機関にない強みを有しており、我が国が実施する緊急援助においてもWFPのロジスティクス機能を活用するなど、人道支援の円滑な実施に貢献。</p>			
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)		<p>・WFPは、飢餓・貧困対策、母子の栄養改善、学校給食を通じた教育支援等の実現に資するものであり、持続可能な開発目標(SDGs)の達成及び我が国の外交政策の柱の一つである人間の安全保障の実現に重要な役割を果たしている。</p> <p>・我が国は、WFPの最高意思決定機関である執行理事会の議席(拠出順位に基づき決定)を、1996年から確保しており、WFPに対する我が国の発言力・影響力を確保している。</p> <p>・WFPの現事務局長は2012年の就任以来毎年訪日し、我が国ハイレベルとの意見交換等を行うので、我が国はこの機会を通じて、WFPにおける我が国の影響力を確保している他、毎年行われる日・WFP政策協議や各地域事務局長、国事務所長の訪日を通じて我が国意見をWFP事業に反映させている。</p> <p>・WFPは、事業実施にあたり、日本のNGOや企業をパートナーにしているほか、東京において日本企業を対象とした調達セミナーを開催するなど(2016年2月)、我が国民間セクターとの連携に積極的。</p>			
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント		<p>・WFPは、地域別、国別、分野別のパフォーマンス評価を毎年実施しており、評価において勧告された事項について、対応計画を作成の上、執行理事会等においてその履行状況を報告している。2015年は事前準備・緊急対応、栄養、国別評価の大きく3つのテーマに焦点を当ててパフォーマンス評価を実施し、評価結果を執行理事会において報告するとともに、モニタリングのための根拠ベースの充実等の具体的な措置やそのタイムスケジュールを明確にした上で改善を進めている。</p> <p>・また、インド会計検査院による外部監査やMOPANIによる評価において、WFPの財政管理は健全である旨評価されている。さらに、WFPは財政枠組の見直し等、組織・財政管理の効率化に努めている。</p>			
4. 当該機関等における邦人職員の状況		<p>・日本人職員数(専門職以上)は、2014年の38人から2015年には44人に増加。うち、幹部職員(D1以上)の邦人職員が2名勤務している。</p> <p>・WFPは、2015年に日本において国際機関キャリア・ガイダンスを実施(3回)したほか、広島平和構築人材センター説明会(2回)、国際協力ジャーナル主催の国際協力キャリアフェア、国連フォーラムでの講演等を通じ、邦人職員の採用促進に積極的に取り組んでいる。</p>			
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保		<p>日本の拠出金の執行管理につき、以下のPDCAサイクルを通じ適切な報告・フォローアップが行われている。</p> <p>①計画段階(Plan): 我が国の関連政策(「経済財政運営と改革の基本方針2015について」)やWFP事業計画等に照らしつつ、予算要求。</p> <p>②実施段階(Do): 予算拠出。WFP執行理事会(年3回)、日・WFP政策協議(年1回)、ハイレベルを含む協議を通じて、WFPの活動をモニタリング。</p> <p>③評価段階(Check): 事業報告書、外部監査報告書やWFP評価室による内部評価報告書等により成果を評価。</p> <p>④フォローアップ(Act): WFP執行理事会、日・WFP政策協議等の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。</p>			
担当課・室名	国際協力局緊急・人道支援課				